

部分一体型補修(光硬化)・部分補修

6 部分一体型補修(光硬化) φ250 取付ライニング+400-250 光硬化一体

状況 光硬化取付管ライニングφ250の施工後に、一体型施工を行なう。
φ250の取付管となると機材や施工機ゴム等の問題上、本管管径が400以上でなければ施工できませんので、機材の関係上、400-250、450-250、500-250、600-250のラインアップが追加となります。
各口径とも、ゴムの作成は受注生産となります。納期等、事前にメーカーまでお問い合わせください。

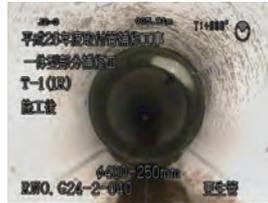
対策 施工例



φ250 取付管ライニング施工 ライニング材切削工



施工前



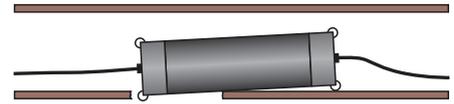
400-250 光硬化一体型施工後



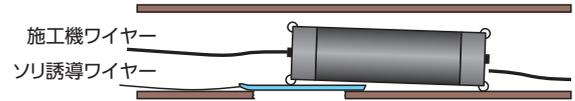
施工中

7 部分補修 … 管底部の破損が激しく、 施工機が通らない箇所の補修

状況 管底部の破損が大きく、施工機のタイヤが落ち込んでしまい、補修ができない。



対策 施工機前方のタイヤをソリに乗せ、施工機を誘導、補修を行った。



施工前



施工後

* 施工機ワイヤーとソリ誘導ワイヤーを同時に引っ張り、破損箇所を乗り越えたら、ソリ誘導ワイヤーのみを引っ張ってソリを回収。施工機の位置合わせを行って施工する。

ソリ使用のイメージ

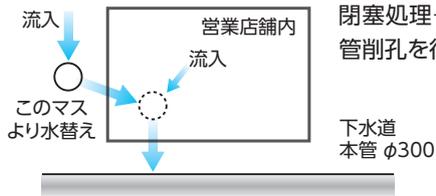


使用したソリ



8 部分補修 … 更生工事の前処置

状況 ⇨ **対策** 宅内ですが営業店舗内で、かつ開閉不可のため、止水栓を使用しての浸入水処理ができず、管更生の当日に閉塞処理→更生→取付管削孔を行った。



施工前



施工後

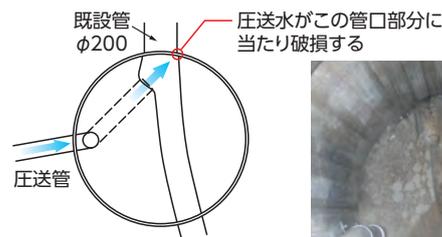


削孔後

* 更生時には、取付管からの不明水処理が問題になり、部分補修工法にて仮止水が有効である。
今回は、標準I材料を使用したが、仮止水程度であれば、BFマット1セットでも可能。(要相談)

9 部分補修 … 圧送管吐出人孔における既設管口の保護工

状況 人孔内の下流管口部分に、圧送水が直接当たるため、破損する。



対策 下流管口部分に塩ビ管を延長設置するため、部分補修にて固定する。

